

『食べ物とごみのさかい目はどこ？～食品ごみをなくそう大作戦！～』 実施レポート

この講座では、クイズやゲームなどを通して楽しみながら食品ロスについて学ぶことができます。さらに、クラスで実際に残った給食の量を知ってもらうことで、食品ロス問題を自分事としてとらえ、児童たちの行動変容を促します。

2024 年 6 月 14 日に岡崎市立六ツ美中部小学校の 5 年生の皆さんが受講したときの様子を紹介します。児童やあいち eco ティーチャーから、こんな感想や宣言が寄せられました！



食品ロスのクイズに挑戦

日本では、毎日1人が捨てている食べ物のごみがお茶わん1杯分と知ってびっくりした。(児童)
食品ロスをへらすことが、SDGsにつながることを知った。(児童)



残した給食の写真を見てびっくり



ゲームで出た意見をグループ毎に発表

- 食べ物を大切にする。
- 食べきれぬ量を取りわける。
- 給食をのこさない。(児童たちの宣言の一部)

児童の皆さんはイネの栽培学習をしているので、お米の話もしました。学校や家でも食べ残しを減らすことに意欲的になってくれて、嬉しかったです。(あいち eco ティーチャー)



エコアクション宣言を考える